

# 人文教育と漢文

本 田 蔭 軒

能く西洋人は漢文と希臘羅典とを比較して漢文は粗大で科學的研究態度でない。希臘羅典は其精密複雑な文法を知らねばならぬから其れを研究すると知らずく科學的研究態度の習慣を作る。西洋人は早くから此の習慣を作つて居るから、科學が發達したが、支那や日本は漢文をやつて居るから、科學が發達しなかつた。と云ふのである。近頃又或る青年學者が其れに似たことを言つて、今日の時世に治國、平天下と云ふ様な政治的機構の學問をして居ると、日進月歩の人文教育を妨碍すると云ふやうなことを述べて居る。(讀賣新聞 三木清氏)

右の意見は一應有理のやうであるが、其の一を知つて、其二、其三を知らぬ者であると言ひたいのである。成程西洋には古典として希臘、羅典があつて、直接必要でないけれども學ぶことになつて居るさうである。而して其希臘語の如きは、筆者も少し嚙つたが可なり文法は繁雜である。所で其れを覺へた所で、希臘語の原典と云ふ者が、日本で手に入れることは六かしい。且つ大抵其れ等の原典は翻譯されて居るので、英・佛・獨語などを知つて居れば事足りると思つて、希臘語を研

究することは止めた。併し其んな文法を暗記したとて科學的研究態度が養へるとは思はれない。寧ろ盲目的、機械的暗記の集積より外に何者もない。寧ろ下らぬことは無用の勞力を空費するに過ぎぬ。但希臘哲學でも專攻する者は別問題である。しかし今日の希臘哲學專攻者が必ずしも科學的發見とか、人文教育に大に貢獻する所があるとばかり言へぬであらう。しかし今日西洋諸國では、其んな科學的態度と云ふやうな功利的なことでもなく、希臘羅典は寧ろ尊敬すべき古典として、精神的に感化を與へて居ることと思ふ。其の點は我等の漢文と似た者であらう。

漢文學を以て治國平天下のイデオロギイの如く考へるのは著しく其人の「漢文學」と云ふ者の視野の狹隘なことを憐むのであるが、假りに其れだけとしても斯かる考へは吾々に重要な要素ではなからうか。希臘羅典は別として、今日英語、獨逸語、佛語など各種の學校で多くの時間が其れに割かれて居るが、其れ等の教科書は何が主として盛られてあるか？。成る程、どれも青年の喜びさうな小説、殊に男女戀愛などに關する者も大にある。それは漢文のやうな堅苦しいことゝ丸で違ふのである。それも差支ないのである。しかしそんな者ばかりでは一旦緩急ある場合、心の締りと云ふ者が皆目つかぬ。甘い者、辛い者、酸い者、色々あつて料理は出来るのである。漢文學は東洋の聖人賢人を始め數千年來の國家、社會、個人の有形的、無形的の生活經驗を端的に記した寶庫である。其中尤も必要な者は和譯もされて居るが、其れは九牛の一毛に過ぎない。

漢文を読むことは困難であると云ふものは誰しも能く言ふが、其れは餘りに漢文を侮つた言草である。英獨佛諸國語を読むだけの骨折の十分の一でも漢文に費したら何の造作もないのである。殊に希臘語などの繁雜な文法を學ぶ程の勇氣があつたら何でもないことである。尤もさればとて漢文が容易いと云ふのではない。其の六かしいのになると本場の支那の先儒でも疑はしきを闕くと云つて疑問符のまゝ残してある程である。

所で英佛獨諸國語は文明國の語であつて、其れを読めば科學的研究態度なり、其の他人文教育に裨益する所があるが漢文は物質科學の發達しない又或る點では蒙昧不靈な人種の學問で、其れを読んでも何等得る所がない。つまり内容價值が英獨佛等の諸國語より劣ると云ふのである。これは明治維新以來我が國朝野の人士に由つて唱へられ、殊に日清戰爭以來盛に言はれた所である。是は成程致命的批評であつて確かに其點もあるにはある。勿論漢文學が有らゆる學問を包括して其れさへ修めれば何も外に學問の必要はないと云ふことは出來ぬ。殊に今日漢文學と云ふのは少くとも二千年或は千年以前に發達した文なり詩なりを最上として居るのであるから今日の時世に合はぬ者又足らぬ者があることは當然である。併し何千年たつても他に掛けがへの無いか味のあることは、何人も否定出來ぬであらう。恰度生れ故郷はかけがへが無いやうな者である。これに代る者が英獨佛希臘羅典などにあるであらうか。西洋人には勿論であるであらうが、吾々東洋人に取つて何うであら

う。日本人が如何に上手に外國語を操つても外國人には及ばぬ。漢文學は千何百年來我が國民に咀嚙されて血となり骨となつて第二の國語になつて居る。徳川幕府を倒して王政維新にする原動力を作つたのは漢學者殊に山崎闇齋學徒である。蘭學や洋學を始めたものも漢學者である。國學者は積極主義で排外的であつたが、漢文學者は凡ての新學を取り入れるに躊躇しなかつた。これは博文約禮と云ふ漢文のイデオロギイから來て居る。現代の人文教育に合はぬやうなことを墨守する様では博文約禮ではないのである。且つ漢字漢文がある爲に外國語も容易に翻譯され又我が人文教育に同化して居るのである。若し外國語のまゝ鶉呑に輸入して居たら恐らく我が國民性は今日のやうにはならなかつたかも知れぬ。我が國に取つて危険なやうな思想や、主義が大抵外國其まゝ鶉呑にして使用して居るのでも分るであらう。

漢文學は文法暗記の集積ではない。直觀的體讀法である。科學的研究態度の妨害どころか、よき端的に寧ろ其れを飛躍的に助ける効力がある。其れは知る人ぞ知るである。